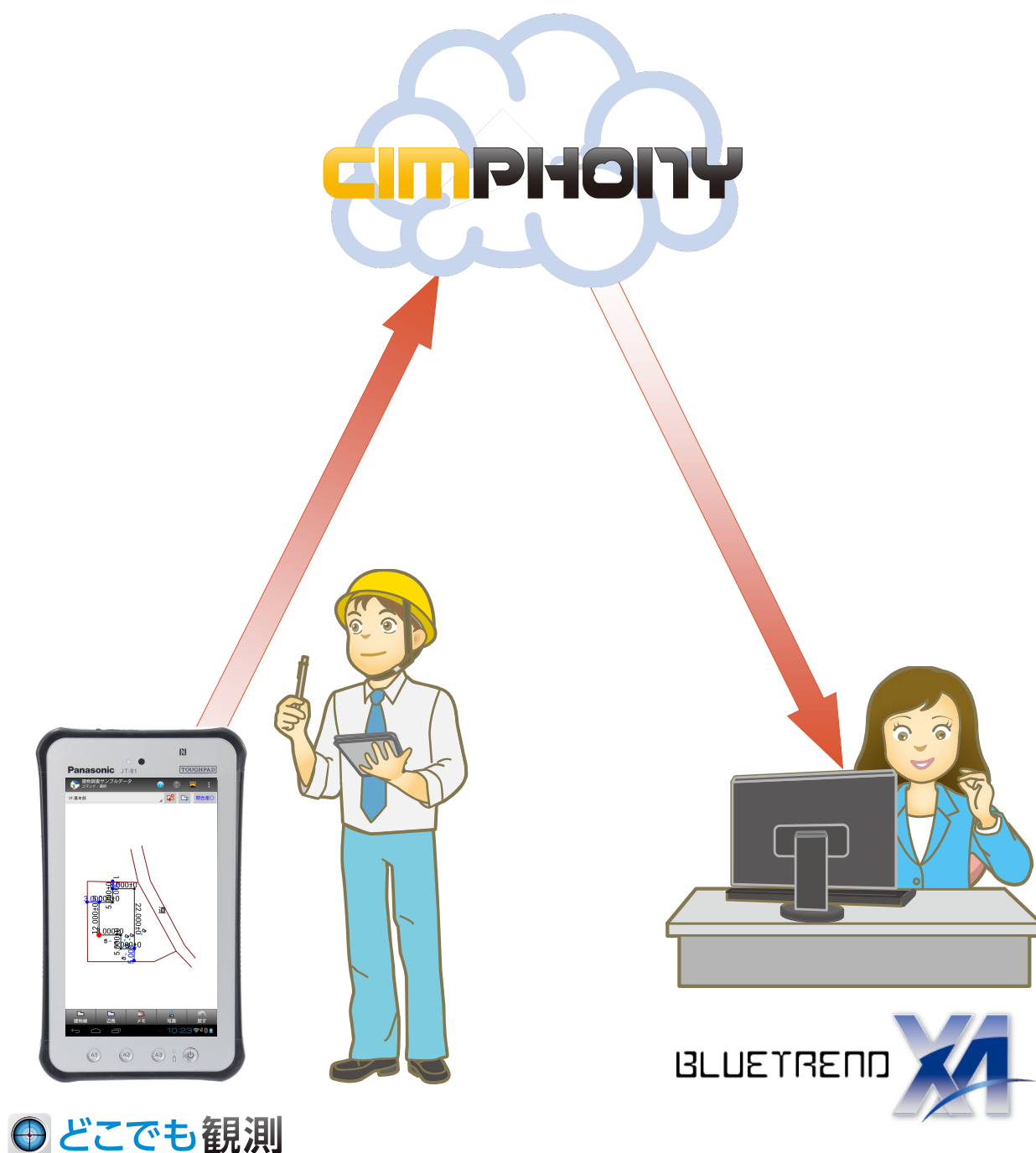


# 建物調査ツール連携

どこでも観測 建物調査ツールと BLUETREND XA の連携の操作を、簡単な入力例で解説しています。

※どこでも観測 建物調査ツールと BLUETREND XA とのデータ連携には、CIMPHONYのご契約とオプション「どこでも観測入出力」が必須となります。



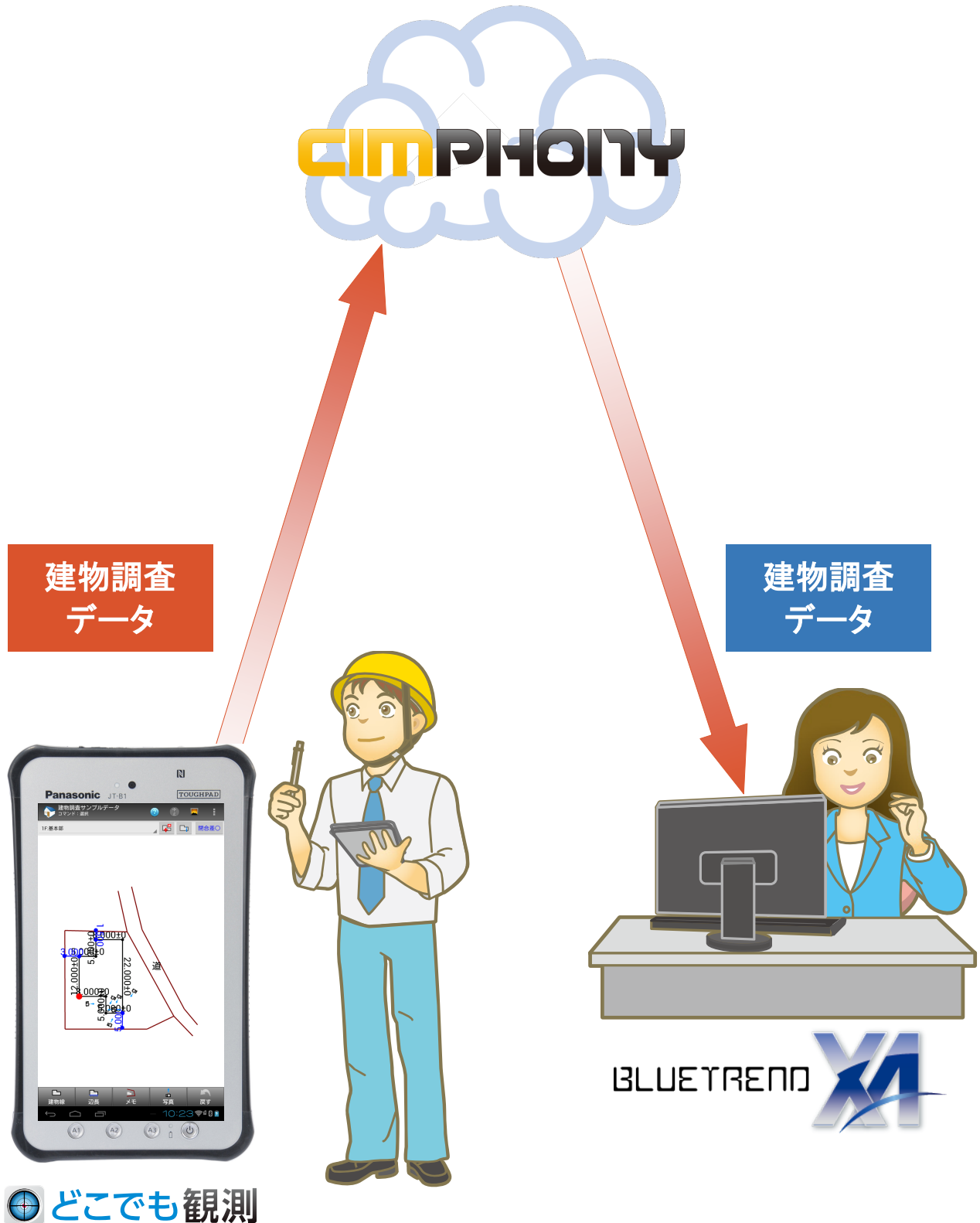
# 目次

## 建物調査ツール連携

1. 建物調査ツール連携(入力例)の流れ	1
2. 建物調査	2
2-1 [どこでも観測 建物調査ツール]を起動する	2
2-2 建物線を入力する	4
2-3 辺長を入力する	6
2-4 敷地を入力する	8
2-5 寸法線を入力する	9
2-6 写真を入力する	12
2-7 CIMPHONYへアップロードする	14
3. 建物調査データの取り込み	16
3-1 [各階平面図]の作業データを新規作成する	16
3-2 建物調査のデータを取り込む	16

# 1 建物調査ツール連携(入力例)の流れ

本書では、以下の流れで、どこでも観測 建物調査ツールとBLUETREND XAの連携の操作を解説します。



# 2 建物調査

[どこでも観測 建物調査ツール]を起動して、現地調査をおこないます。

## 2-1 [どこでも観測 建物調査ツール]を起動する

[どこでも観測 建物調査ツール]を起動します。



1 [どこでも観測]をタップします。

2 [建物調査ツール]をタップします。



3 [新規作成]をタップします。



4 現場名を入力します。

5 [OK]をタップします。



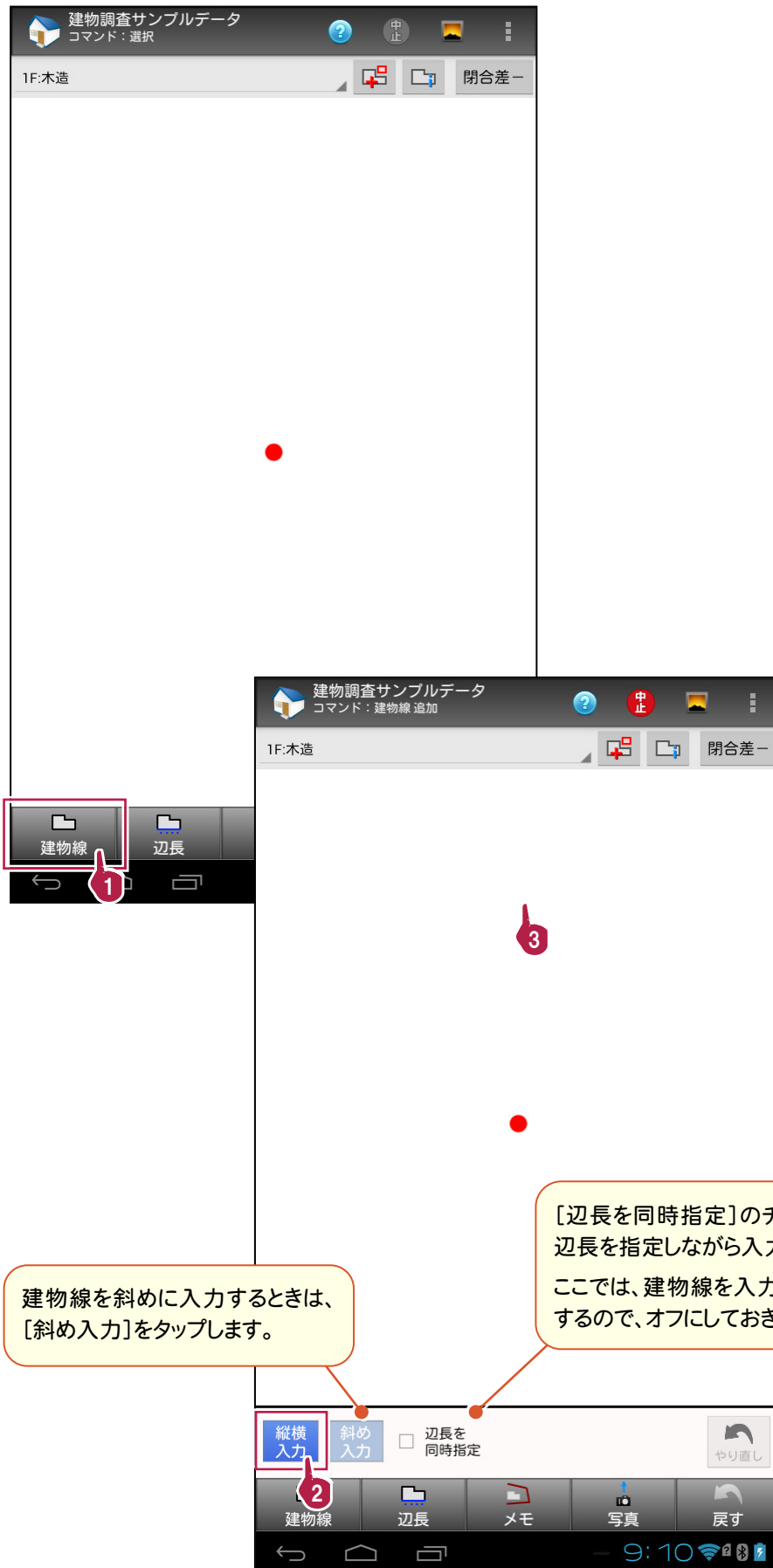
6 建物属性と階を設定します。

7 [OK]をタップします。

## 2-2

# 建物線を入力する

次に、外形を入力してから、各辺の寸法を入力する操作を解説します。まず、[建物線]で外形を入力します。



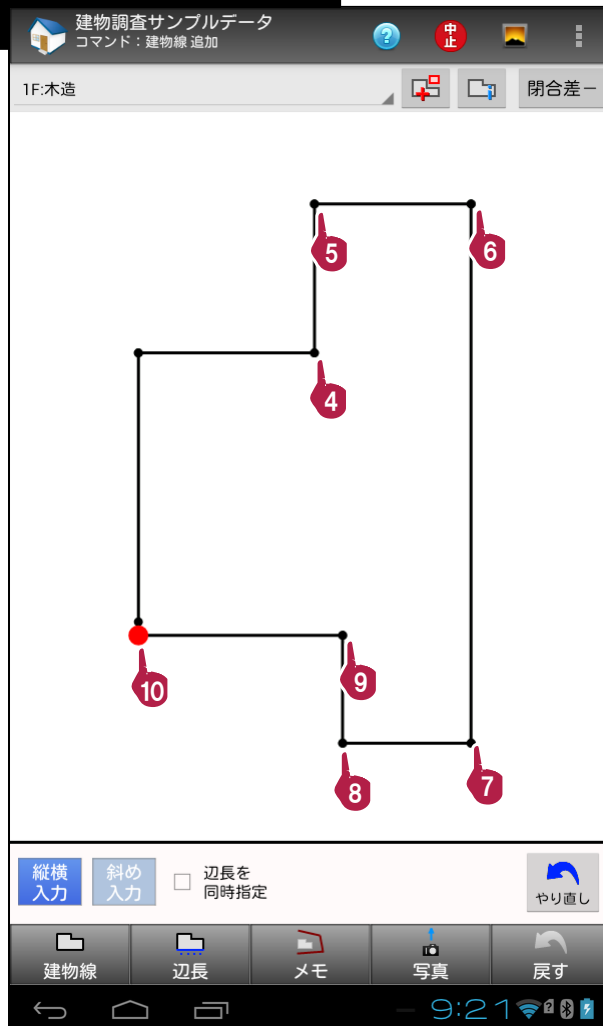
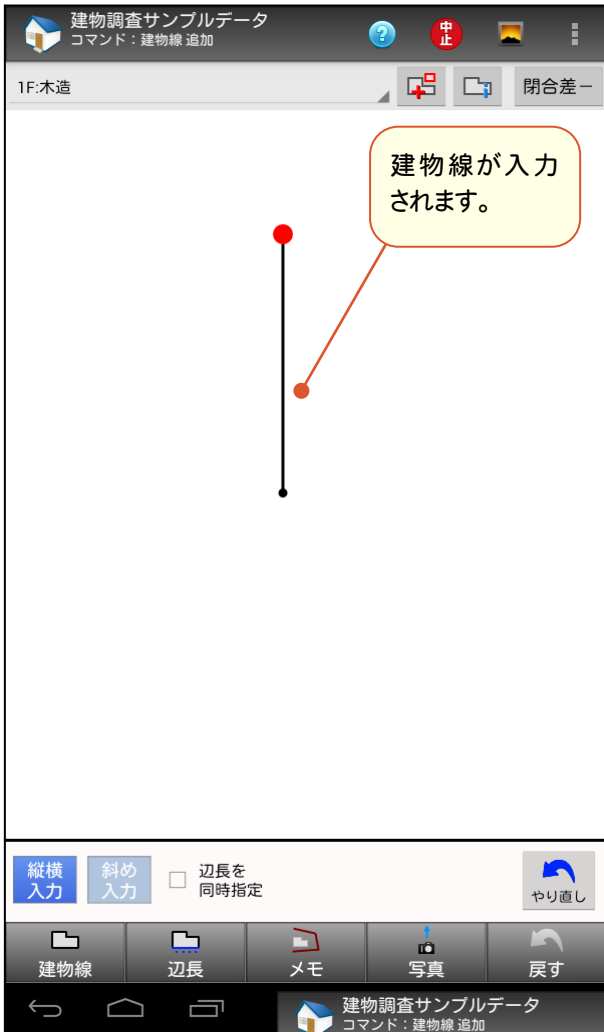
1 [建物線]をタップします。

2 [縦横入力]をタップします。

3 建物線を入力する方向をタップします。

建物線を斜めに入力するときは、  
[斜め入力]をタップします。

[辺長を同時指定]のチェックをオンにすると  
辺長を指定しながら入力できます。  
ここでは、建物線を入力してから辺長を指定  
するので、オフにしておきます。



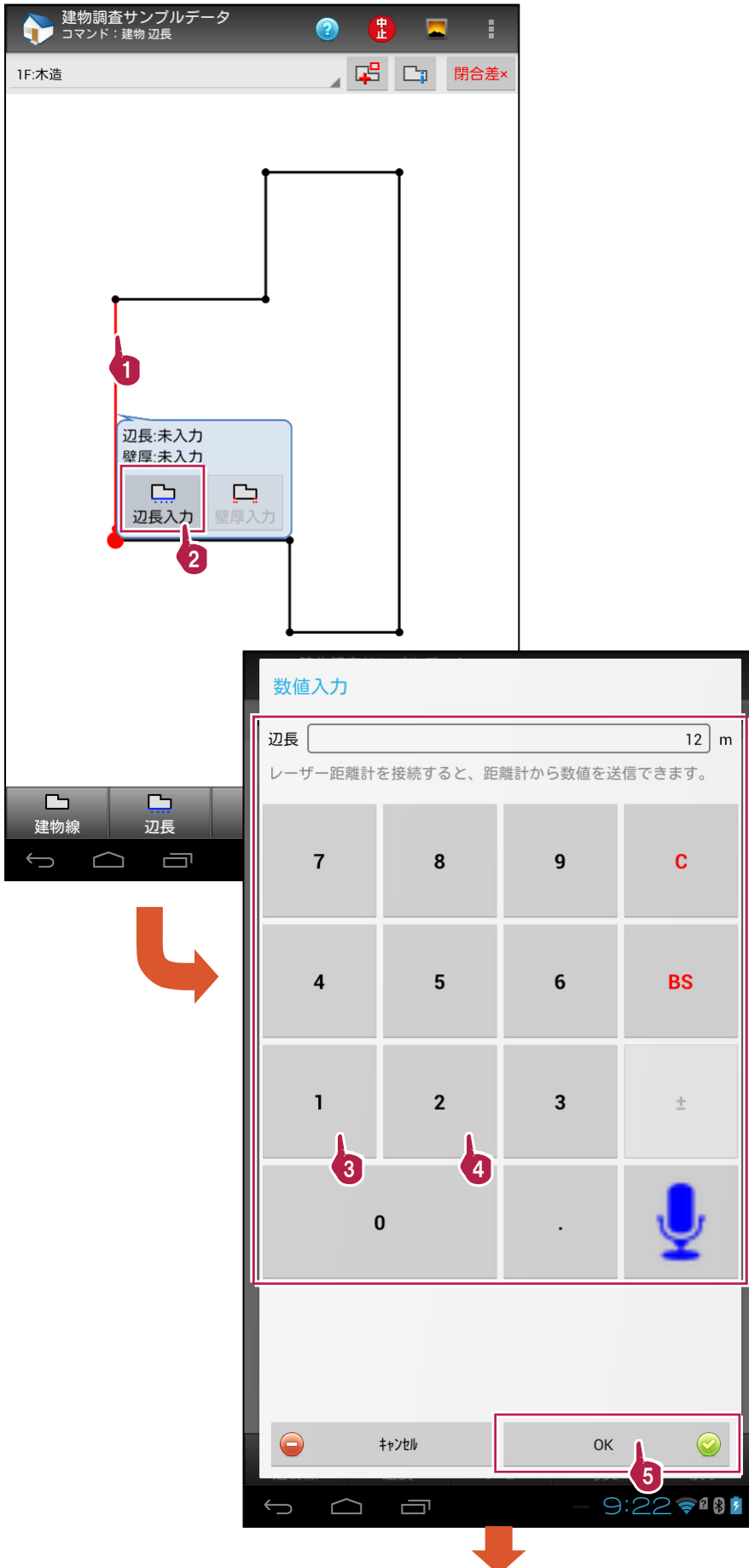
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10

同様に建物線の方向を指定して、左図のように建物線を入力します。

## 2-3

## 辺長を入力する

次に、[辺長]で入力した外形に寸法(辺長)を入力します。



1 辺長を入力する建物線をタップします。

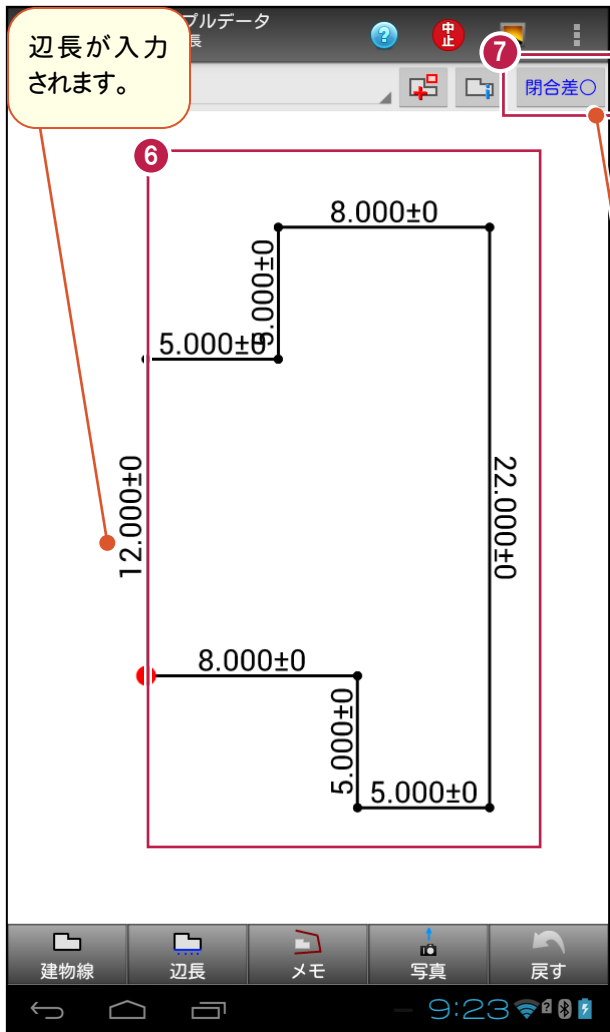
2 [辺長入力]をタップします。

3 4

辺長を入力します。  
ここでは、[1][2]をタップして、「12」と入力します。

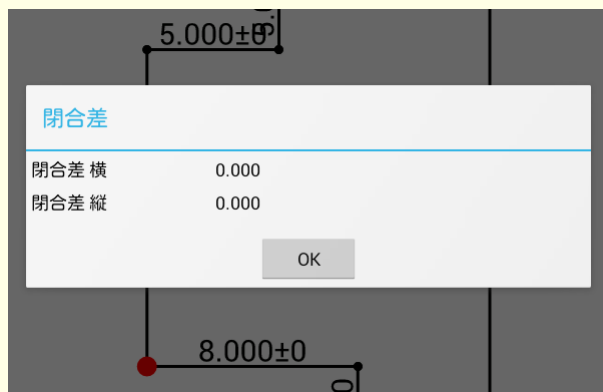
5 [OK]をタップします。





- 6 同様な操作を繰り返して、左図のように辺長を入力します。
- 7 [閉合差○]と表示されていることを確認します。

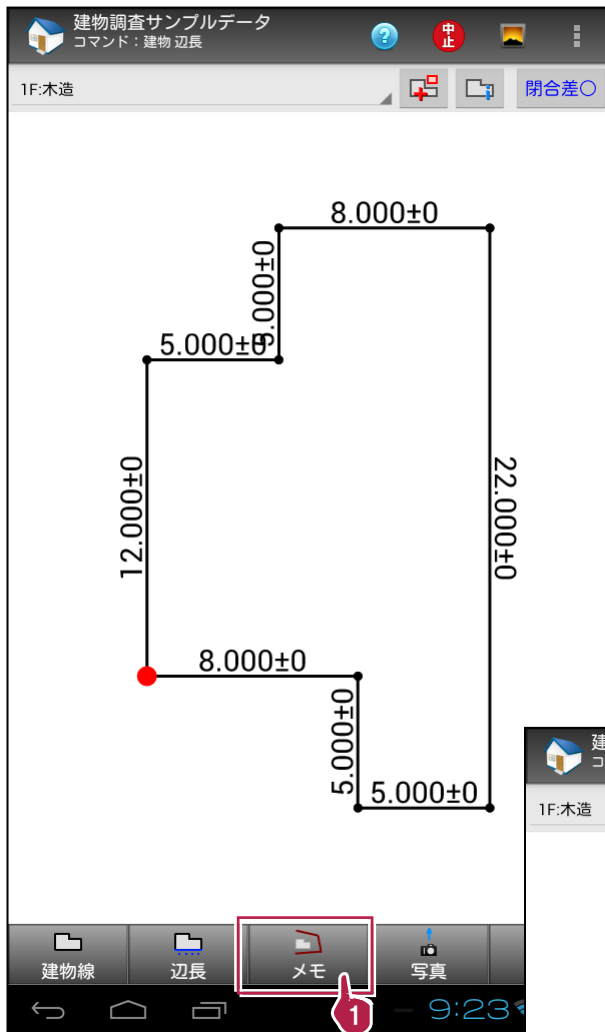
建物線が閉合されていないときは[閉合差×]と表示されます。  
 [閉合差]をクリックすると、閉合差が表示されます。



## 2-4

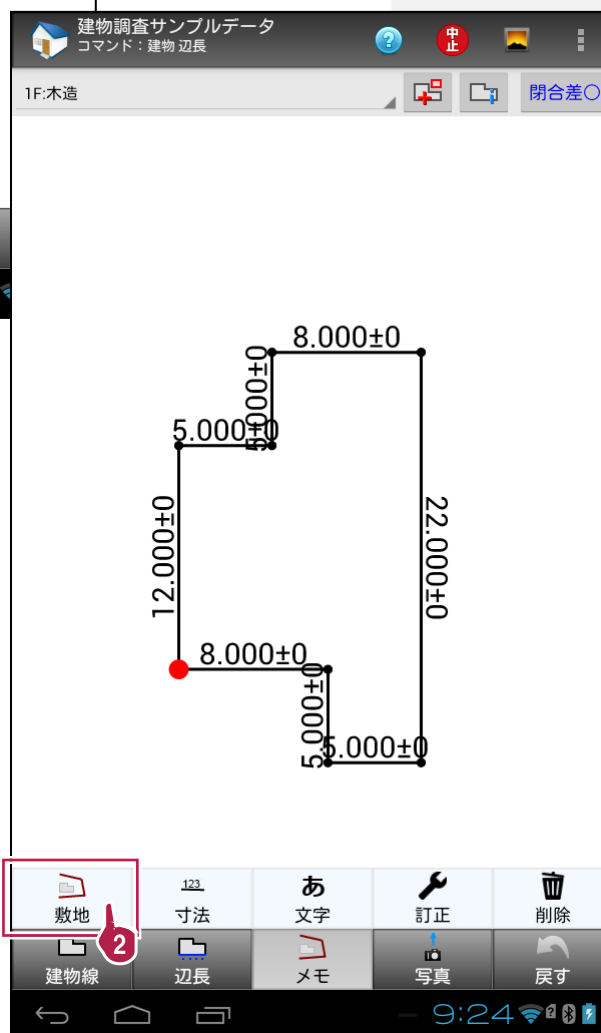
## 敷地を入力する

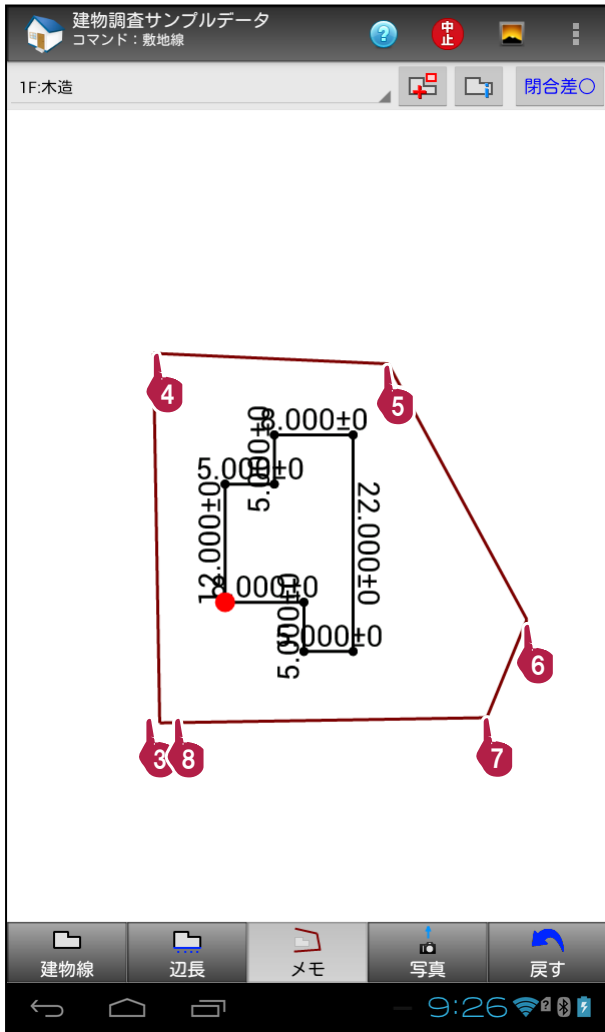
敷地を入力します。



1 [メモ]をタップします。

2 [敷地]をタップします。



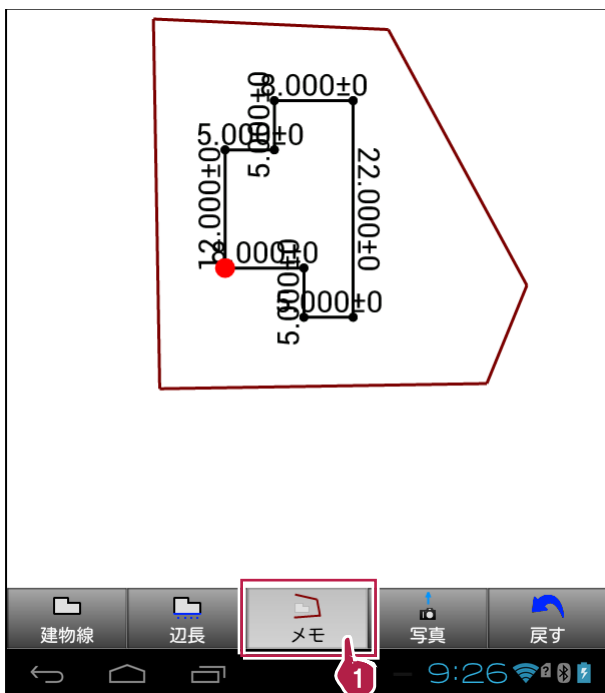


- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8

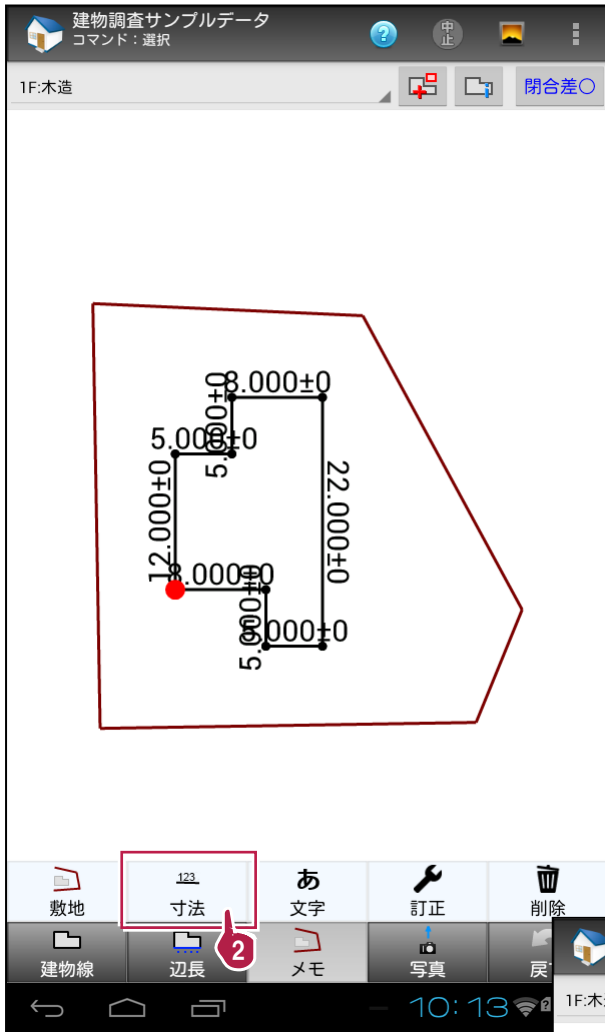
入力点を順にタップして、敷地を入力します。

## 2-5 寸法線を入力する

寸法線を入力します。



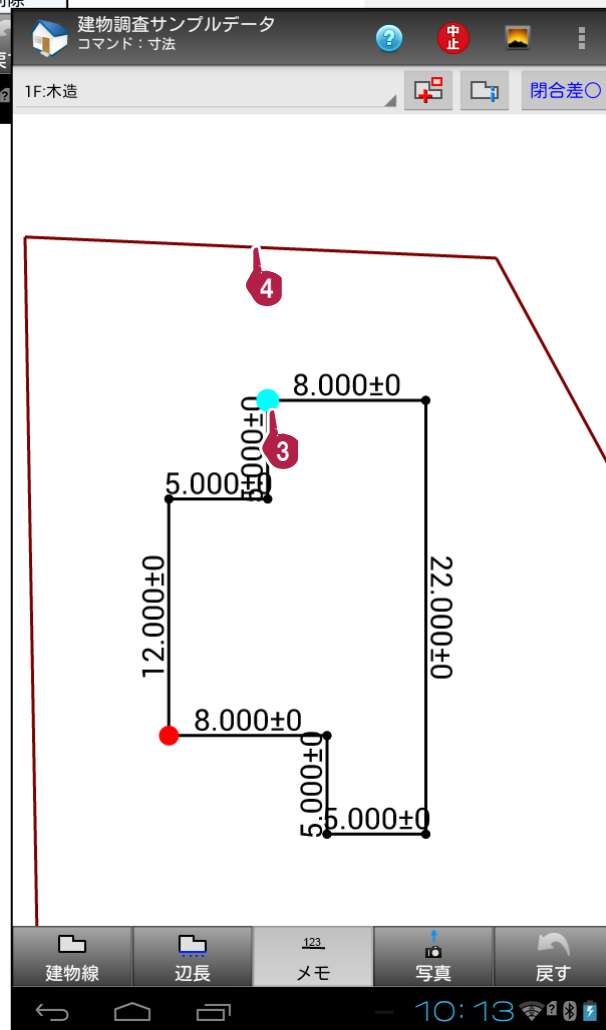
- 1 [メモ]をタップします。

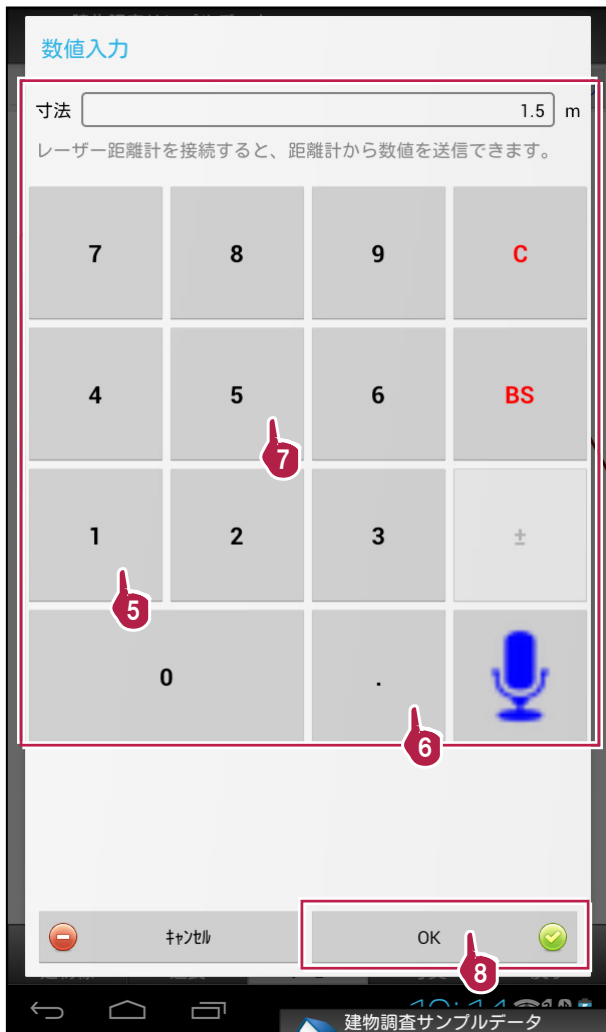


2 [寸法]をタップします。

3 寸法線の始点をタップします。

4 寸法線の終点をタップします。



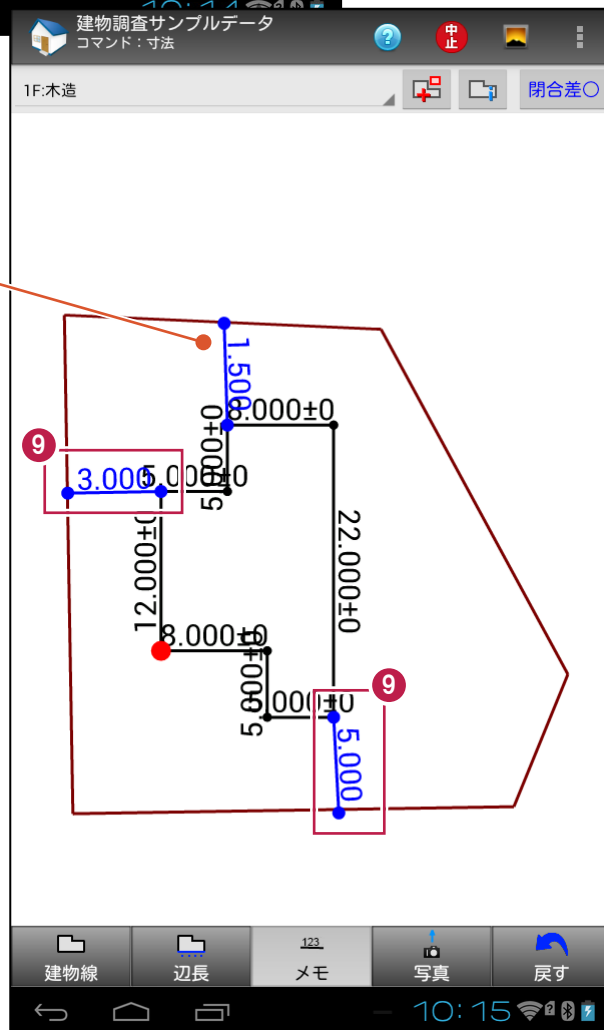


5 6 7

寸法値を入力します。  
ここでは、[1][.][5]をタップして、「1.5」と入力します。

8 [OK]をタップします。

寸法線が入力  
されます。

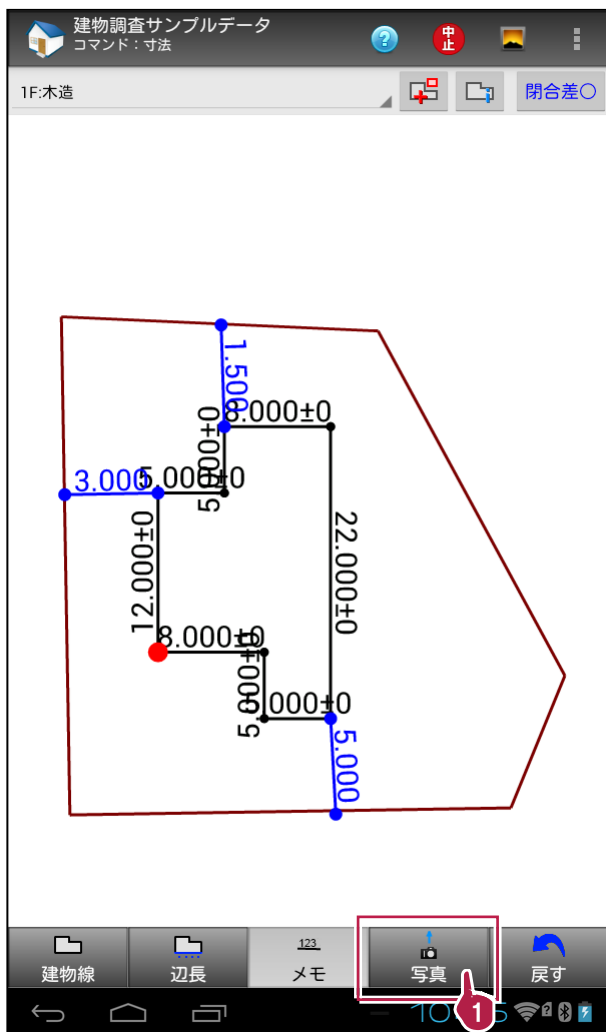


9 同様な操作を繰り返して、  
左図のように寸法線を入力  
します。

## 2-6

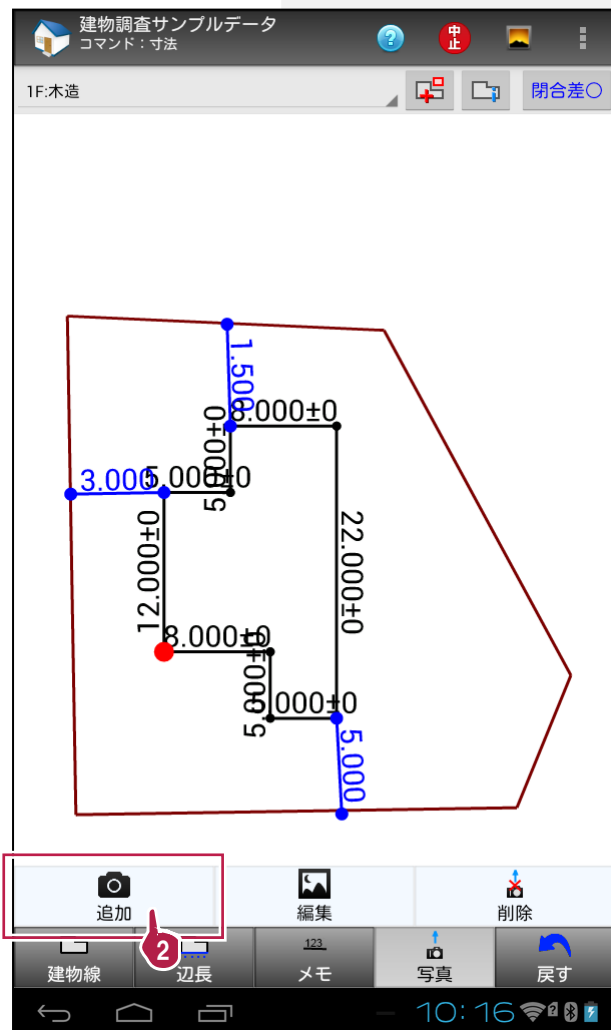
## 写真を入力する

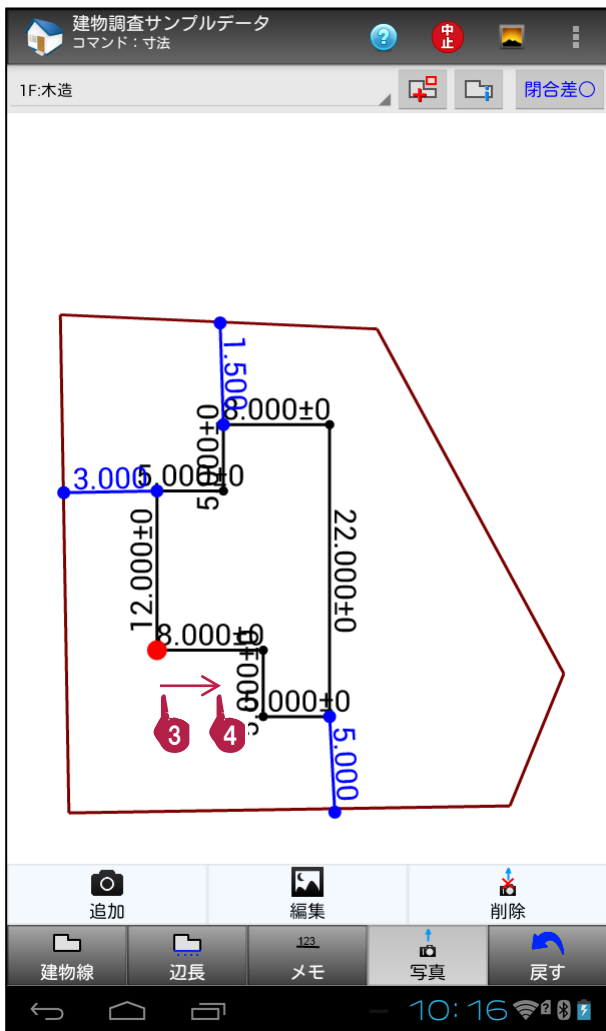
写真を入力します。



1 [写真]をタップします。

2 [追加]をタップします。





3 4

写真の撮影位置、方向をタップします。

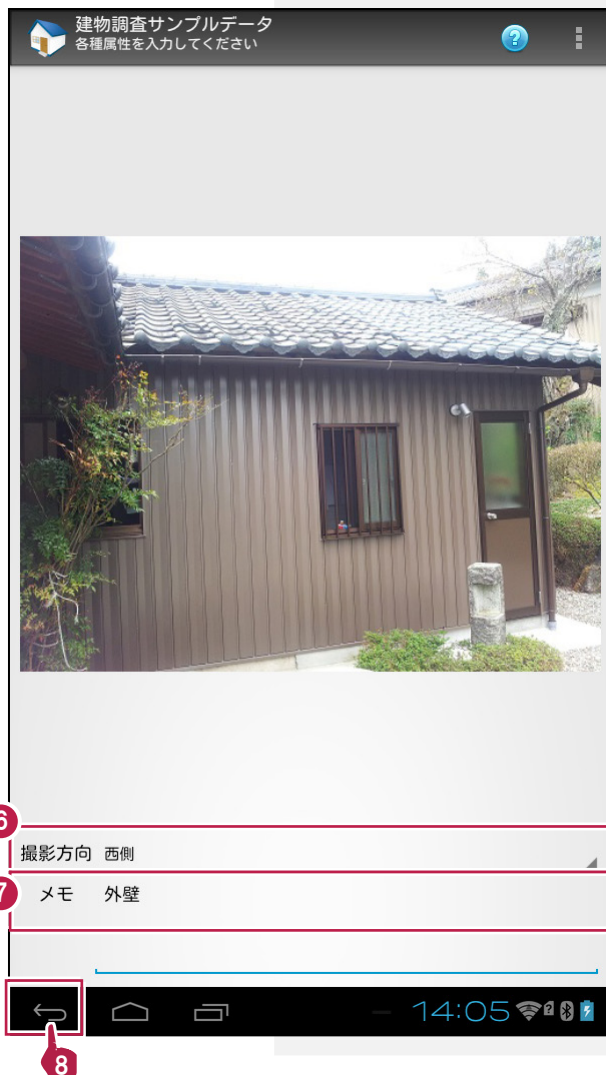
5 カメラで写真を撮ります。

6 撮影方向を選択します。

7 メモを入力します。

8 [戻る]をタップします。

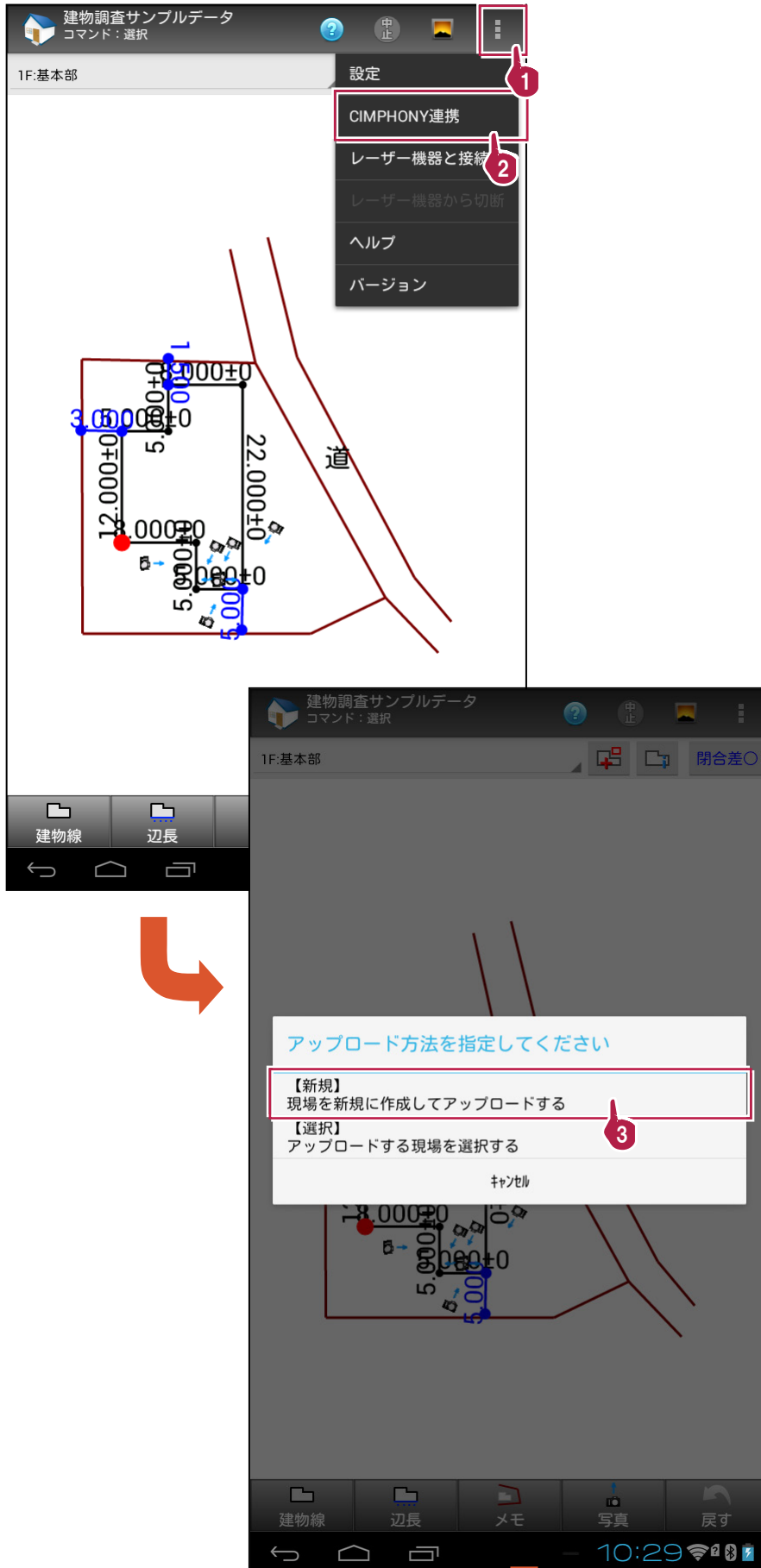
5 カメラで写真を撮ります。



## 2-7

# CIMPHONYへアップロードする

作成した建物調査のデータをCIMPHONYへアップロードします。

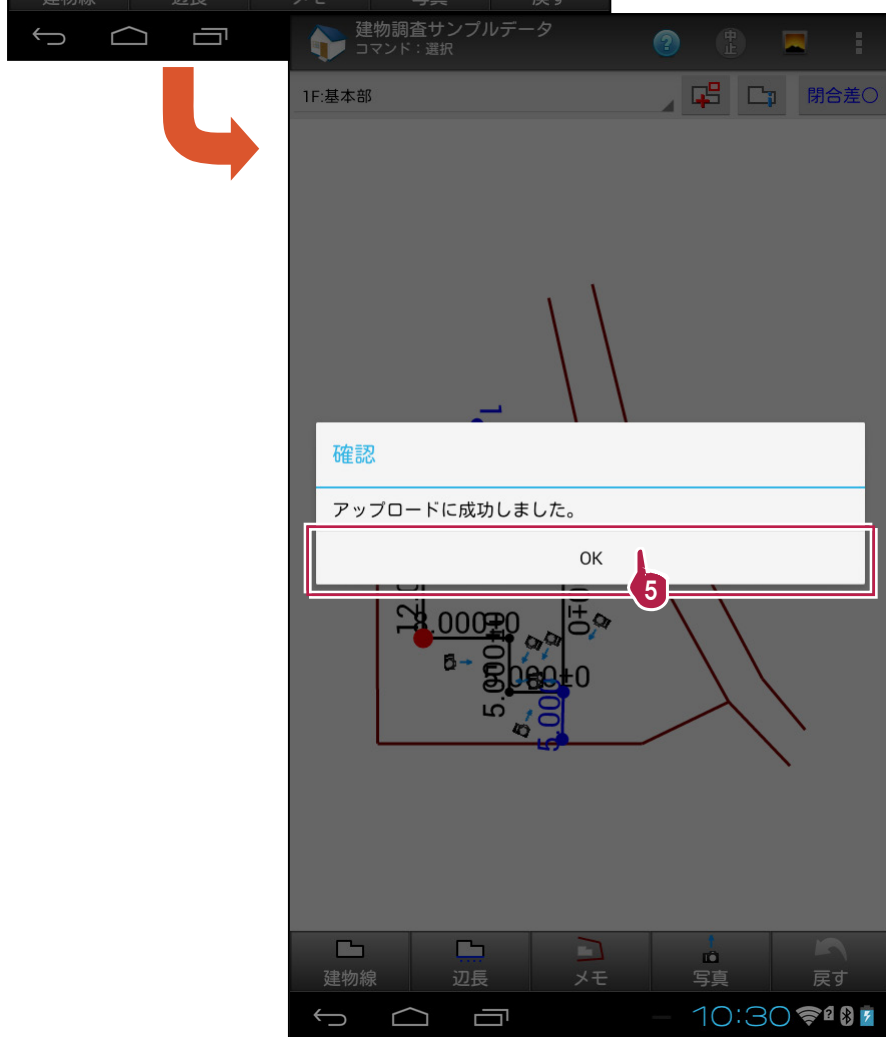


- 1 [メニュー]をタップします。
- 2 [CIMPHONY連携]をタップします。
- 3 [【新規】現場を新規に作成してアップロードする]をタップします。





- 4 確認のメッセージが表示されますので、[はい]をタップします。



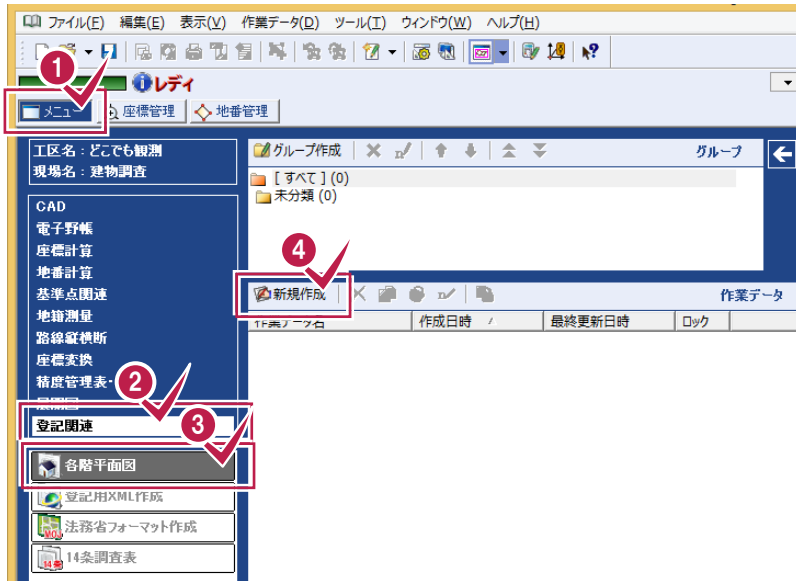
- 5 アップロードが成功すると、確認のメッセージが表示されますので、[OK]をタップします。

# 3 建物調査データの取り込み

BLUETREND XAの[各階平面図]で、建物調査ツールのデータを取り込みます。

## 3-1 [各階平面図]の作業データを新規作成する

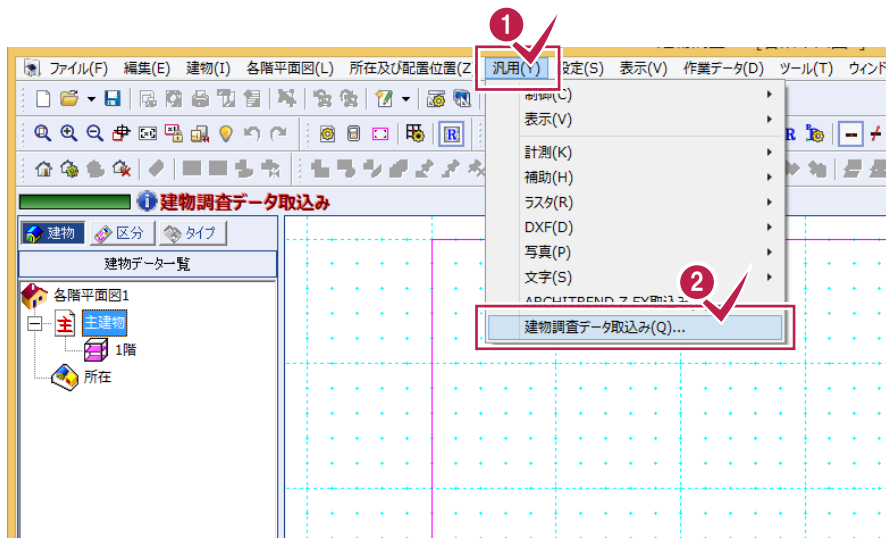
BLUETREND XAの[各階平面図]の作業データを新規作成します。



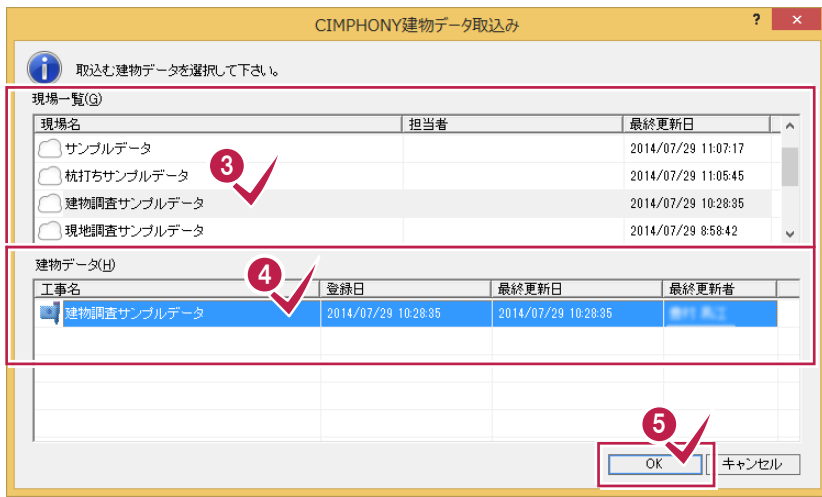
- 1 メインメニューで[メニュー]タブをクリックします。
- 2 [登録関連]をクリックします。
- 3 [各階平面図]をクリックします。
- 4 [新規作成]をクリックします。

## 3-2 建物調査のデータを取り込む

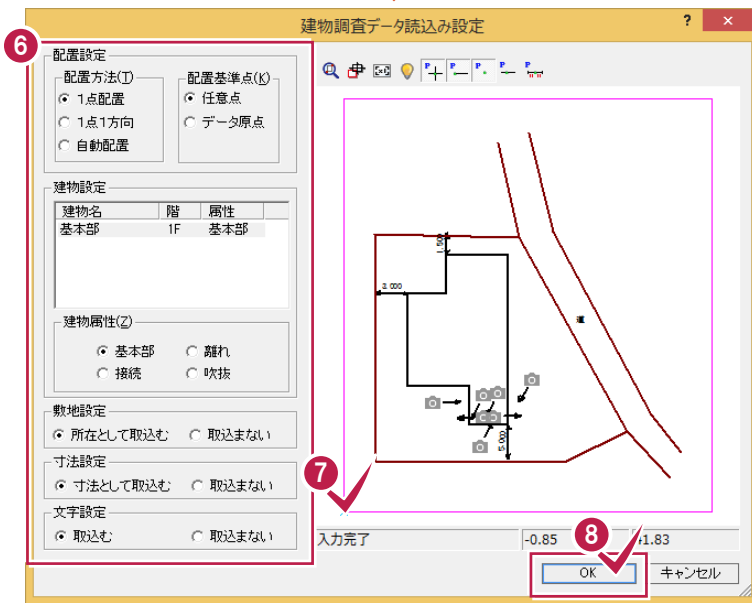
どこでも観測 建物調査ツールのデータをCIMPHONYから取り込みます。



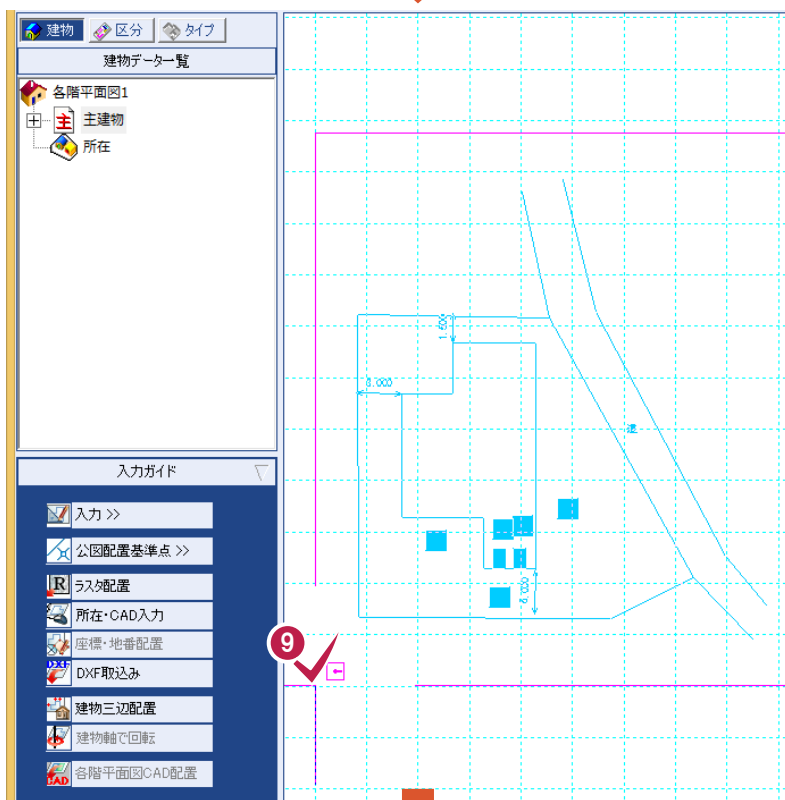
- 1 [汎用]をクリックします。
- 2 [建物調査データ取込み]をクリックします。



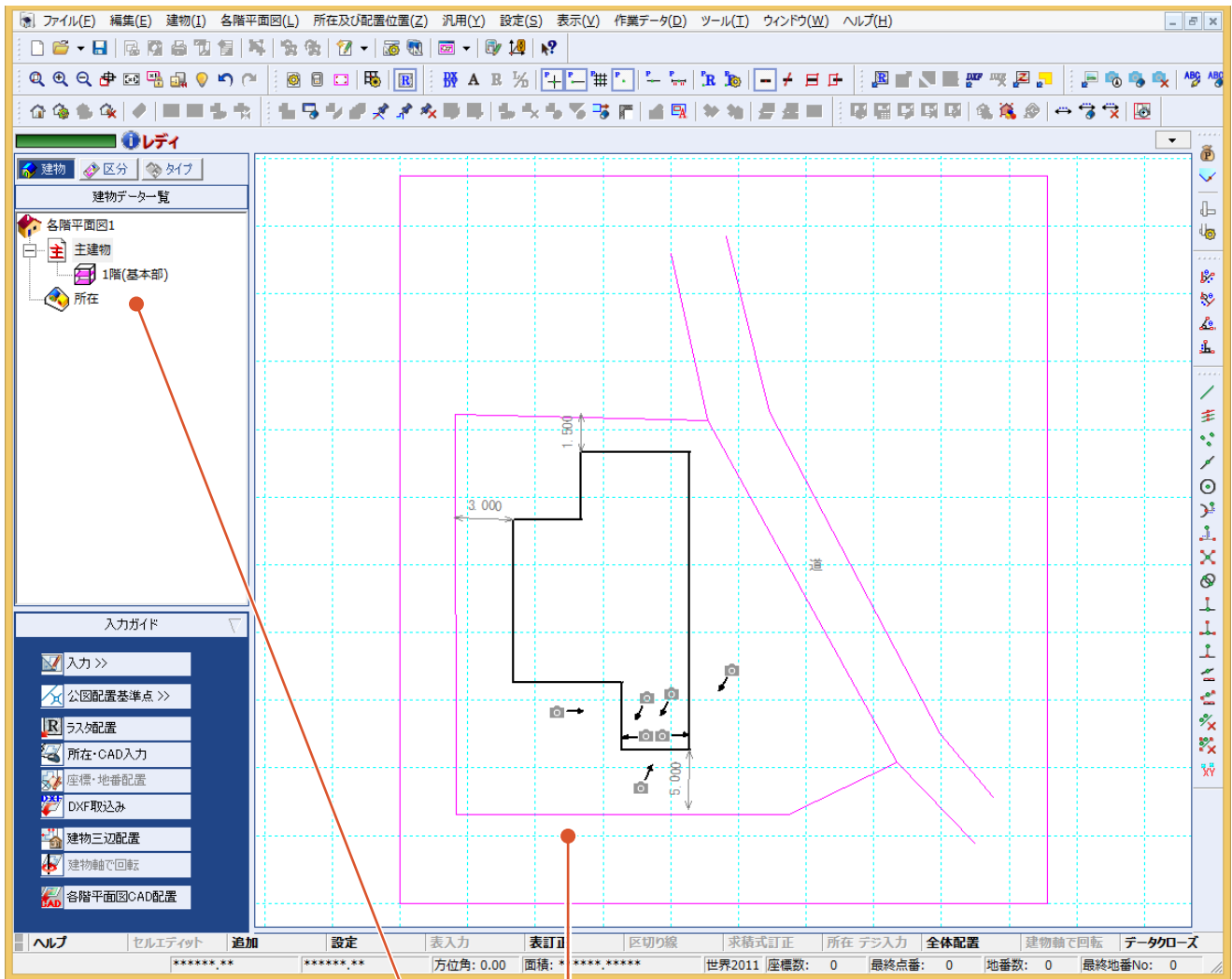
- 3 現場を選択します。
- 4 建物データを選択します。
- 5 [OK]をクリックします。



- 6 配置、建物、敷地、寸法、文字の取り込みに関する設定をおこないます。
- 7 基準点をクリックします。
- 8 [OK]をクリックします。



- 9 配置基準点を指定します。



建物調査ツールで入力したデータが取り込まれます。